

草川といへるは藻塩草に白川の辺りと云々。南禅寺記に少林院と慈聖院の間を小草川といひ、楞伽西雲の両院の後を大草川といふと云。

白川の末の草河冬かれてほそき流に千鳥鳴くなり・景樹

春晚花過ギ客至テ南禅仙館ニ会ス・春青山ニ在リ九鎖ノ中 京塵駕ヲ税ギ詩翁ヲ問フ 花応ニ世人ヲ引テ至ルコトヲ羞ズベシ 万緑樹頭昨夜ノ風・彦龍